

# みんなの願いは窓口無料 すすめる会ニュース 18-2号

2018年11月19日(月)

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

会

## 福祉医療給付の年齢拡大と完全無料化を 8月現物給付化を評価、更なる制度の拡充を県に要請



すすめる会は11月9日、県健康福祉部に「福祉医療給付の更なる拡充要請」を行い懇談しました。

すすめる会からは副会長の高橋(新婦人)、原(県推協)、田淵(難病連)3名と事務局から原(社保協)、宮澤(保険医協会)、竹田(県推協)3名、新婦人森山さん、草場さん(子ども1名)、ちごちごの会太田さん、ポプラの会穂苺さん、保険医協会水野さんの計11名が参加しました。県からは大月健康福祉部長、滝沢健康福祉政策課長、瀬戸係長らが応じました。要望書を手渡した高橋さんは「現物給付が実施できたことは母親としても嬉しく、有りがたいことです。今日は制度の更なる拡充のために私たちの要望を届けたい」と挨拶。大月部長からは「制度に対してはいろいろの要望があることは理解している」と応じました。すすめる会は、県として通院も中学卒業まで年齢拡大すること、自己負担金を廃止し完全無料にすることなど6項目を要請し、会が実施したアンケート結果や当事者の声を伝え懇談しました。

主な要望項目に対する県の回答と、懇談内容は以下の通り

### ①県の補助対象者を通院も中学卒業まで拡大を

回答「制度の持続可能性が重要」

アンケートでは7割以上の県民が高卒以上、あるいは20歳までの拡大を望んでおり、県下の1割の子ども世帯が貧困状態という実情を踏まえれば、年齢拡大は貧困対策として県が率先して実施すべきである。また、市町村議会からも県の水準を中学卒業まで拡大するよう意見書が繰り返し上げられている。制度の拡大を市町村任せにせず、県民の要望と自治体の意見を重く受けとめるよう要望しました。

### ②完全無料の現物給付制度に

回答「負担金は共に制度を支えるため、持続可能な制度に必要」

すすめる会の会長で小児科医の和田浩医師が、数日前に診察に来た親から「500円が払えないんです」と言われた事例を伝える。負担金の払えない家庭は実際に存在しており、いちばん困っている人たちが制度の恩恵が受けられるようにしてほしいと要望。アンケートにも自己負担金は是非無くして欲しいという声が多数寄せられている。新婦人森山さんから「子どもを複数科受診させた際に同じ病気なら薬局ではお金がかからないだろうと思ったら支払をもとめられ驚いた。病院、薬局で500円払うと、子どもが多ければ積み重なり負担が重い。せめて薬局の支払いを1か月1回だけにしてほしい」という訴えがありました。

### ③障がい者を含む福祉医療給付全体を現物給付に、精神障がい者の給付事業を他の障がいと同等に

回答「新たな財政負担が生じる」

ちごちごの会(重症児親の会)代表の太田さん「障がい者の医療費は高く、入院ですれば家庭争議が起きるくらいの負担になる。いずれ戻るからといって医療費だけ別にとって置くことはできない。せめて、お金のことを心配せずに受診させてほしい」。ポプラの会(精神障がい者を支えるNPO)代表の穂苺さん「精神障がいを抱える人々の多くは経済的な困窮世帯が多く、収入は相対的貧困水準を割り込む年額87万円前後の収入だ。最も現物給付の対象なすべき状態なのに後回しになっている」と給付の拡大を強く求めました。



私たちの要望に対し、滝沢健康福祉部課長は、現行の現物給付制度を「県としては決して完成型とは思っていない。今後市町村や当事者の皆さんからの声も聞いてより良い制度にしていきたい」と答えました。また、精神障がい者の給付範囲に対し「他の障がいと比べ遅れてしまっている。障がい間格差があることも指摘の通り。今後改善する課題であることは充分認識している」と答えました。

このほか、会が要請した現物給付実施にともなう県民調査に「実施を検討する」と回答。また、すすめる会が行ったアンケート調査に対し「貴重な資料をいただき感謝しています。ありがとうございます」と述べました。今回の懇談で、県は私たちの訴えに良く耳を傾け、質問にも真摯に答える姿勢が見られました。すすめる会では引き続き県と懇談を行う予定です。

2面にアンケート結果を抜粋して掲載

# 新しい子ども医療費助成制度に対するアンケート結果(11/8 時点) **抜 粋**

福祉医療給付制度の改善をすすめる会

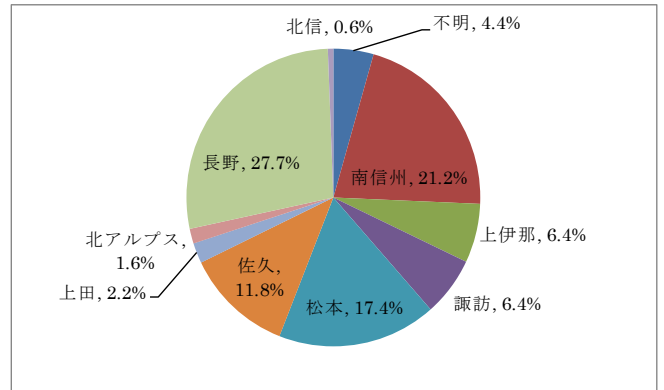
○実施期間 H30年10月9日～H30年11月8日

○調査対象者 県内の子育て世帯、障がい者世帯

○回答総数 498世帯

## 【回答者の居住地】

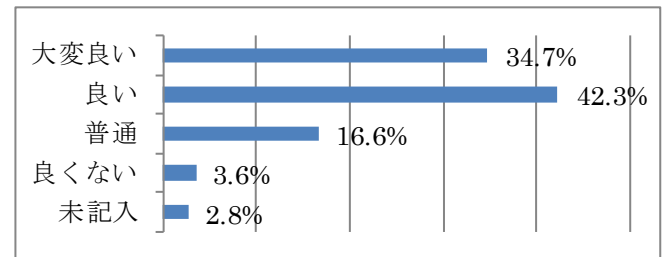
北信地域 ( 3 ) 長野地域 ( 138 )  
 北アルプス地域 ( 8 ) 上田地域 ( 11 )  
 佐久地域 ( 59 ) 松本地域 ( 87 )  
 諏訪地域 ( 32 ) 上伊那地域 ( 32 )  
 南信州地域 ( 106 ) 不明 ( 22 )



## 【問】子ども医療費助成制度について

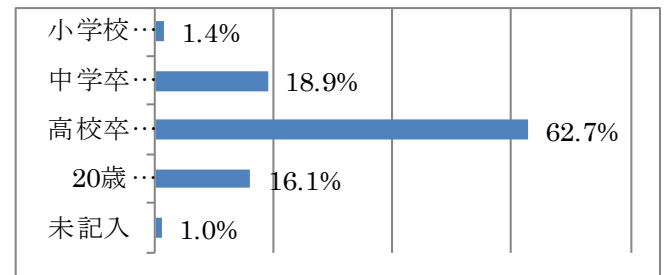
### ①新しい制度についてどのように思いますか。

大変良い ( 173 ) 良い ( 211 )  
 普通 ( 83 ) 良くない ( 18 )  
 未記入 ( 14 )



### ②子ども医療費助成制度の対象は何歳までを希望しますか。

小学校卒業まで ( 6 ) 中学卒業まで ( 94 )  
 高校卒業まで ( 312 ) 20歳まで ( 80 )  
 未記入 ( 5 )



## 新しい制度について、感想・意見・要望 **抜 粋**

- 急な診察時でも自己負担分 500 円のみ支払いなのでとても助かりました。無料になるともっと良いなと思います。
- 窓口で患者負担が減るのは大変ありがたい。月末や金銭面の余裕がない時に、子どもを病院に連れて行かないことがあった。これからは安心して受けられる。
- 子どもにかかる薬代が毎月すごくかかっているの、新制度はありがたいです。
- やっと(制度が)できましたが、自己負担があるのはまだ困る。障がい者も一緒になってほしかった。
- 病院・薬局でそれぞれ 500 円かかるので大変です。以前住んでいた所は無料だったのですごく負担に感じました。小学校入学前は特に病院に行くことが多いのでその期間だけでも無料にならないものかと思う。
- 同月に複数科を受診すると、それぞれ薬局で薬をもらった場合、3 科受診すると 3000 円かかるため、安くなったように思えない。
- 500 円の自己負担で済むのは助かりますが、薬局と合わせると 1000 円になります。うちは母子家庭で母も福祉医療の対象ですが、償還払いが負担です。すべて現物給付にしてほしいです。
- 同一の病気やケガでかかる場合、1 回だけ 500 円払えばよいとか、自己負担なしとなると更に良いと思います。
- 障がい者も一緒に現物給付としてください。

他、たくさんの要望・意見が寄せられました。ご協力ありがとうございました。